

2020年度

関東弁護士会連合会 シンポジウム

完全WEB配信!

日時 2020年9月25日(金)

9:30-13:00

関弁連 HP よりご覧いただけます。

http://www.kanto-ba.org/symposium_video/index.html



スポーツにおける公正性・公平性の実現のために
～ 障害者スポーツ、不祥事対応を題材として ～

① 障害者スポーツの現状と諸問題

当部会は「スポーツにおける公正性・公平性の実現のために」というメインテーマを受け、近年徐々に注目を集めつつある、障害者スポーツに焦点を当てました。

障害者スポーツでは、スポーツ権の保障という視点のみならず、障害者差別解消法に基づく合理的配慮の視点も必要になりますので、スポーツを専門的に扱わない弁護士であっても、問題点を把握しておく必要は高いといえます。

また、延期後の東京パラリンピックの開催を来年に控えていますが、パラリンピックの競技種目や、競技の公平性の確保のために障害の程度によって参加クラスが分けられること(クラス分け)などの障害者スポーツ特有のルールを知らない方も多いため、改めてパラリンピック種目を始めとする障害者スポーツの現状や、法的問題について、この機会に理解していただきたいと思えます。

本発表では、パラリンピック競技だけでなく障害者スポーツ全般について、複数の競技団体からヒアリングした内容を踏まえ、障害者スポーツの歴史や法制度、競技者や競技団体の現状、また障害者スポーツ特有の問題であるクラス分けをめぐる問題等を解説します。

さらに、障害者スポーツの事例を通じて、一般の競技でも問題になりうる代表選考の問題や、スポーツ仲裁の手続きについても解説します。

② スポーツ団体における不祥事対応 ～ 処分手続の現状と課題 ～

スポーツ界では近時、アスリートの権利を侵害すると共に、スポーツの価値を損なうような不祥事が頻発しました。このような不祥事を未然に防ぐよう最大限の努力をすべきことはいうまでもありませんが、起きてしまった不祥事について迅速かつ適正に対応することも不祥事予防に繋がるといえます。

当部会では、不祥事の処分手続にスポットを当て、現にスポーツ団体がどのような処分をどのように行っているのかをアンケートによりリサーチし、不祥事における処分が日本スポーツ仲裁機構(JSAA)でどのように争われ判断されたかについても調査・研究を行いました。これらの成果を踏まえて、処分手続を進めるにあたってどのような課題があるのか、これらの課題にどのように対応すべきかについて、処分手続の流れに沿って、参加者の皆さまと共に考えていきたいと思えます。

なお、今回のプレゼンテーションは、弁護士のみならず、スポーツ団体関係者の皆さまにも向けたものとなっており、噛み砕いた説明をするよう心掛けておりますので、興味のある方は是非とも奮ってご参加いただけると幸いです。